

さらさら

2011年3月20日

加古歯科医院

〒478-0053 知多市清水ヶ丘 1-1801

tel(0562)33-4180

fax(0562)33-4188

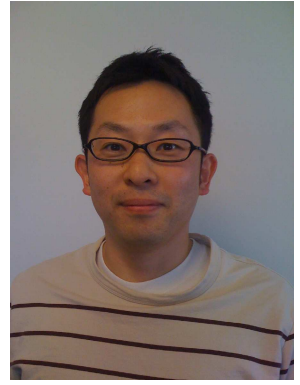
Quality of your life 心も身体も心地よく

<http://www.saradent.com/>



『旅立ち』

歯科医師 長縄敬弘



四年間にわたる加古歯科医院での充実した日々が終わろうとしています。四年前、大病院勤務を終え、次のステップとして予防歯科治療を大切に行っている医院でじっくり歯科臨床を学びたいと考えていました。そのとき先輩の紹介により、まるで運命に導かれるように加古歯科医院と出会ったことを、まるで昨日のように思い出します。

どの患者様も初めて加古歯科医院に足を踏み入れるとき、まず趣のある医院の外観や院内の雰囲気、まず心を奪われるのではないのでしょうか？私も初めて訪れたときは、「すごい医院だ！」と圧倒されたものです。しかし実際に勤務して加古歯科医院がこれほど多く多くの患者様に支持される理由は決して見た目だけではないということがよく分かりました。院長先生はじめすべてのスタッフが、ただの「患者様」としてではなく一人ひとりを加古歯科医院へ訪れて

下さる「ゲスト」のように大切にしようという思いに共感してくださっているのではないかと、思います。大病院勤務時は、患者様の「人」を見ず、ひたすのみに注力してきた身としてとても大切なことに気づくことができました。

加古歯科での四年間で歯科医師としてだけでなく、人としても大きく成長することが出来たと感じております。これからは、自分が院長として先頭に立つてチームを引っ張ってゆかなければなりません。しかしここで学んだことを生かし、一歩ずつ階段を登り、いつか加古歯科医院卒業生として恥ずかしくない歯科医院を作りあげたいと思えます。

最後に、私のつたない診療につきあってくださった多くの患者様、いつも楽しく、温かくサポートしてくれたスタッフの皆さん、そして歯科治療の楽しさや奥深さ、なによりそこから生まれる人生の豊かさや素晴らしさを教えてくださった院長先生に心より感謝いたします。四年間本当にありがとうございました！



『春』その一』

歯科医師 吉田奈未

昨年十一月より、加古歯科医院にて勤務させていただいています。

今回のテーマは「春」ということで、春といえば出会いと別れの季節。私も幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学そして社会人といういろいろな時代を過ごしてきました。幼いころから極度な人見知りな私にとって、基本的に新しい環境は大の苦手。当然のことながら、新しい学校、クラスは楽しみではなく、むしろ憂鬱でした。

そんな私も歯科医師になり、はや数年がたち、多くの患者様との出会いがありました。初めて人と出会う感覚は今も昔も変わりありません。しかし、信頼関係を築く喜びはこの仕事の醍醐味の一つだと感じています。初めて歯科医院を受診される方、初めて出会うスタッフ、初めて受けられる処置内容には不安と緊張感で一杯だと思えます。少ない時間ではありますが、患者様の気持ちにできるだけ応えられるように努め、これから出会う多くの患者様の幸せにつなげられるよう、日々努力を重ねていきたいと思えます。

『春』その二』

受付 尾之内 靖子

暖かく過ごしやすい季節になりました。

私は、身体を動かすことが好きなので、この季節になると外に出る機会が増え、わくわくします。お弁当を持って、公園や花見などに行かれる方も多いと思います。外で食べるお弁当は、手を加えていないおにぎりにしてもなぜかとても美味しい気がします。

今、私はお弁当作りに少しこつこつと、いろんな野菜やフルーツなどを取り入れ、作るようにしています。最近健康や美容に気をつけて、なるべく多くの種類の野菜をとるよう心がけているのですが、料理が得意ではないので、レパートリーが少なく同じようなものばかりになってしまっています。何か、簡単で美味しく作れるレシピなどありましたら是非教えて下さい。

また、春といえば新生活なども始まる新たなスタートの季節ともいえます。加古歯科医院では、歯のメンテナンス以外にも、リップエステにリフトアップなどのケアも取り入れております。歯のケアなどに加え唇のケアもされてみてはいかがでしょうか。